

捨てられた石

ごみ

いま、どこにいても、みんながごまっているのは、ごみの問題です。まだ使えるものでも、新しく便利なものができると、すててしまうのです。

まだ使えるのにすててしまったものがないか考えて、次の空白に書いて下さい。

捨てられた石

家を建てる時、今はコンクリートを使ったりしますが、むかしは、石を土台にして家を建てました。石がしつかりしていないと、いくらりっぱな家を建てても、すぐにこわれてしまいます。

イエスさまや、弟子たちが生活していたところは、雨の少ない地方でした。だから、日本のように、屋根をななめにせず、石や土をつみかさねて作りしました。日本では、木造の家の柱に木を使い、柱の下に石をしいて土台とします。どちらにしても、土台となる

石がしつかりしていないといけません。

イエスさまは、十字架にかけられて殺されましたが、キリスト教の土台となりました。人びとが、これは役にたたないと思つて捨てた石が、土台の石になりました。

ごみとして捨てているものでも、まだまだ使えるものがたくさんあります。ある人にはごみのように思えても、ある人には宝に思えるときもあります。

ただ便利なものを使って、使いづらいものを捨てていると、イエスさまを捨てた人と同じようになるかもしれない。

イエスさまを受け入れても、かえってしんどくなる

ことがあります。こちらの願いを聞いてくださるだけでなく、私たちが何かをするように要求されます。

すこしでも楽をしようと思つていると、イエスさまの呼びかけに答えられません。めんどくさいと思つてほつておくと、気づかないうちに、イエスさまを捨ててしまうことになります。

